

・今後のコメ生産計画について

・小中学生を広島へ派遣する事業について



無所属

かない ひさお
金井 久男



詳しい内容は
こちら

今年の参院選後に総理が国会で、コメの増産対策にかじを切るとの発言がありましたが、今後のコメ生産はどうなるのでしょうか。全国の中山間地では農地や水路、農道を維持、管理できる農業者がいなくなり集落ごと消えていくと言われているのが現状です。全国の米生産農家は20年で30%に激減しています。増産をしてみると現場の農家の現状は、機械が更新できない、高齢化で働けない、などで耕作放棄水田が増える実態です。

次に戦後80年という節目の年ですが世界では戦争の惨禍が消えません。日本は唯一の被爆国として「核兵器の廃絶」について大きな責任があり、世界に向けて「核兵器禁止条

約」に署名し、核廃絶を最も強く訴えられる国です。そうした原水爆禁止の原点であるヒロシマ・ナガサキへ市内の小中学生を派遣する事業に取り組んでほしいと市の姿勢を聞きました。



稲の収穫風景

・市民の生命を守る施策について

熱中症対策についてでは、近年、夏の猛暑日が記録的に増加しています。

気象庁は、夏の日本の平均気温が平年を2.36度上回り、1898年の統計開始以降で最高になったと発表しました。

これまでの記録だった2023,24年の値を大きく更新し、歯止めがかからない状況が続いています。

地球温暖化で気温が底上げされ、長期的に見れば、今後も極端に暑い夏が増える可能性が高く、更なる熱中症対策を必要としています。本市でも、熱中症警戒アラートが連日のように発表され、体調不良や熱中症の疑いの方の救急搬送も増加していると感じます。

そこで熱中症対策について4点質問しました。

防災対策についてでは、本市の重点をおいた取り組みや、大規模地震などの災害時に通電火災の予防策となる、感震ブレーカーの普及、促進について3点質問しました。



中学校体育館の大型冷風機



公明党

むしゃ ようこ
武者 葉子



詳しい内容は
こちら